

## 施設関係者評価実施要項

### 《目的》

施設関係者評価は、社会福祉法人照輝会の評議員、第三者委員、及び保護者の代表者(父母の会代表者)による評価を行い、その結果を通じて、施設やご家庭等が園の現状と課題について共有理解を深め、相互の連携を促し、園運営の改善への協力を促進することを目的として行うものである。

### 《施設関係者評価の実施》

- ・認定こども園なおみ園では、評価者を評議員代表者、第三者委員代表者と保護者の代表者（なおみ園父母の会代表者）とする。
- ・施設関係者評価は、各項目について、5段階の基準で評価する。
- ・複数の評価者の評価を平均したものを最終評価とする。
- ・施設関係者評価は毎年 1 回行い、評価を取りまとめ、ホームページに掲載するなどの方法により評価結果報告書として公開する。
- ・自己評価及び評価結果報告書を設置者（法人本部）に提出する。
- ・設置者は施設評価結果の報告書に示された園の特色や課題に向けた取組状況等により、園の教育・保育活動その他の園運営の状況を把握し、その状況や必要性を踏まえて、園に対する支援や環境整備等の改善を適切に行う。

令和 4 年度 施設関係者評価

【評価者】

社会福祉法人照輝会 評議員 (1名) 第三者委員 (2名)  
認定こども園なおみ園 父母の会代表者 (1名)

【評価基準】

- 1・・・全く取り組めていない
- 2・・・取り組めているが、十分な結果がでていない
- 3・・・取り組めている
- 4・・・達成されている
- 5・・・十分に達成されている

	評価項目	評価値
1	園全体の雰囲気は明るく活気があるか。	5
2	園の教育保育活動は理念に則していたか。	5
3	教育保育活動は、園児や地域の実態に沿った適切な内容となっているか。	5
4	園では、特色のある教育保育活動を行い、その成果をあげているか。	5
5	保護者支援、子育て支援事業は、充実しているか。	1.7 (無回答1名の為)
6	遊具・玩具・絵本等は整備されているか。	5
7	園内外の清掃等の環境整備が行き届いているか。	5
8	園の園児は楽しい園生活を送っているか。	5
9	園児は、落ち着いて生活しているか。	5
10	園児は、園の行事に生き生きと取り組んでいるか。	5
11	職員は、地域の方に対して社会人として常識ある言動で接しているか。	5
12	保護者や地域の人たちは、園の教育保育活動に対して参画、支援、協力をしているか。	4.3
13	地域の連携は深まっているか。	5
14	防災・防犯に対する取り組みを十分に行っているか。	5
15	保護者のアンケート、職員の自己評価が行われているか。	5
16	子ども達が様々な体験ができるように考え、コロナ禍で例年通りの進め方はできなかったが、方法を工夫しながら取り組み、子ども達の成長にかかせない達成感や満足感を保障することができているか。	5
17	新型コロナウイルス感染状が流行している中でも、対策をとりながら園内の行事をすすめることができたか。その都度、園の指標を示し、保護者の理解を得ながら進めることが出来ている。	5
18	コロナ禍で行事の変更や延期があったことで、保護者へ伝える機会が少なかったが、どのような状況でも、保護者に園の思いや考えを伝えるように工夫できているか。	4.7
19	園内の衛生管理をしっかりと行い、感染対策で手洗い・殺菌・消毒等の徹底をしているか。日常の健康観察や疾病予防のための取組、健康診断が実施されているか。	5
20	園に関する様々な情報提供 (園便り、クラス便り、給食だより、保健だより等) が行われている。	5

【備考】

・コロナ禍の中職員の皆さまにおいては子ども達の養護・教育にあたり歯痒い部分が多々あったと思います。園全体での連携、個々の工夫等が生かされ、保護者との信頼関係が深まっていると思います。園全体での連携、個々の工夫等が生かされ、保護者との信頼関係が深まってくると思います。

・昨年は、保育園に関する事件や事故のニュースが報道されましたが、これは、慣れによる思い込みがあったからだと思います。職員同士の意志の疎通や報告、連絡、相談を行なうことで防げると思います。これからも、園児ファーストで明るく、楽しい、なおみ園を目指して職員一丸となって頑張りたいと思います。

・12番に関しては、コロナの状況もあり、支援協力をする事ができなかったと思います。それ以外の項目については、成果をあげられていると感じています。コロナ禍で工夫をした取り組みを考える事は大変かと思いますが、今後も子ども達の事をよろしく願いいたします。

項目	No.	内 容	自己評価				
			大変良い	良い	改善を要する	無	
教育・保育理念	1	理念や基本方針が職員に周知されているか。	19	3	0	1	人
			83	13	0	4	%
	2	理念や基本方針が利用者に周知されているか。	16	6	0	1	人
			70	26	0	4	%
	3	クラスの教育保育目標は、園の全体的な計画や特色を活かして設定できている。	20	2	0	1	人
			87	9	0	4	%
	4	一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか。	20	2	0	1	人
			87	9	0	4	%
教育保育の計画	5	社会状況や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて見直しを行っていることを周知しているか。	20	2	0	1	人
			87	9	0	4	%
	6	指導計画（食育、保健計画等）は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野をもって充実した生活が展開できるように配慮し作成されていることを周知しているか。	19	3	0	1	人
			83	13	0	4	%
	7	子どもの生活が豊かになるように行事等を企画し、子どもの発達を踏まえて、その実施の仕方や内容について見直しを行なっているか。	20	2	0	1	人
			87	9	0	4	%
	8	五感を刺激され心を動かされる体験について計画（指導・食育・保健計画等）を立案し、生活遊びの中で子どもたちの心が豊かになるように内容を充実させているか。	19	3	0	1	人
			83	13	0	4	%
子どもの発達援助	9	子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状況を把握し、生活や遊びの援助配慮に反映させているか。	20	3	0	0	人
			87	13	0	0	%
	10	子どもが安定感を持って過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか。	21	2	0	0	人
			91	9	0	0	%
	11	朝や帰りの挨拶の大切さを認識し、保育者自らモデル性を示して、子ども達に習慣づけようと努力しているか。	22	1	0	0	人
			96	4	0	0	%
	12	子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか。	17	6	0	0	人
			74	26	0	0	%
	13	子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけ（言葉掛け・援助・配慮等）が行われているか。	21	2	0	0	人
			91	9	0	0	%
	14	健康安全や心身の発達を十分に図り、日々の環境を整えているか。	20	3	0	0	人
			87	13	0	0	%
15	子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか。	21	2	0	0	人	
		91	9	0	0	%	
16	たくましい心と身体を作るための運動遊びを毎日の活動（室内遊びや戸外遊び）の中に工夫して取り入れているか。	17	6	0	0	人	
		74	26	0	0	%	
17	子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていよう、継続的な信頼関係が築かれているか。	20	3	0	0	人	
		87	13	0	0	%	
18	コロナ禍においても、子ども達が行事を通して様々な体験ができるように考え、方法を工夫しながら取り組んでいるか。子ども達の成長にかかせない達成感や満足感を保障することができたか。	16	7	0	0	人	
		70	30	0	0	%	
19	保育者らしい品位ある言葉づかいを心掛け、乳幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、関わり方をしないようにしているか。	19	4	0	0	人	
		83	17	0	0	%	
20	子どものありのままの姿を受け入れ、スキンシップを図り、子どもの良さを認め、子どもの話をよく聞くようにしているか。	21	2	0	0	人	
		91	9	0	0	%	

子どもの発達援助

21	子どもが遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供し、子どもが自ら考え工夫したりできるような見守りをしているか。	18	5	0	0	人
		78	22	0	0	%
22	禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせるような言葉や態度は控え、子どもを誉めたり、励ましたり、目当てを持たせるような言葉かけをしているか。	14	9	0	0	人
		61	39	0	0	%
23	保護者に対し、子どものことや保育のことをわかりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくるよう努めている。幼児や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにしているか。	20	3	0	0	人
		87	13	0	0	%
24	朝と帰りの挨拶は明るく親しみを込めてしているか。何かをしてもらったら、感謝の気持ちを「ありがとう」と言葉等で表しているか。	21	2	0	0	人
		91	9	0	0	%
25	園の教材や消耗品は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにしているか。	20	3	0	0	人
		87	13	0	0	%
26	服装を整える、髪を家から結ってくる等、清潔感を与える身だしなみで出勤できるように心掛けているか。自らの健康にも配慮し、爪が伸びていないかどうか、ズックの踵をつぶさない等、保育をする上での安全性にも気をつけているか。	20	3	0	0	人
		87	13	0	0	%
27	職務上知り得たプライバシーに関する情報等の秘密を守っているか。	21	2	0	0	人
		91	9	0	0	%
28	園の重要書類は持ち出していない、職場の電話やコピー、紙や教材を私用に使っていないか。	21	2	0	0	人
		91	9	0	0	%
29	締め切りのある仕事や提出物は×切日をきちんと守っているか。職員や園の批判を軽はずみにしていないか。	20	3	0	0	人
		87	13	0	0	%
30	他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるができるか。自分の意見と異なる結果となっても、議論の決定したことは、協力し実行しているか。	21	2	0	0	人
		91	9	0	0	%
31	子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や上司に報告、連絡、相談している。職員全員と親しくつきあい、偏った人間関係をつくっていない。	20	3	0	0	人
		87	13	0	0	%
32	上司の指示には責任をもって持って実行しているか。職員のプライバシーについてもこれを他へ漏らしていないか。	20	2	1	0	人
		87	9	4	0	%
33	保護者からの様々な訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったりしないで、園長、主任、副主任、専門リーダー等に報告や相談をしているか。また、上司に対して、丁寧に適切な言葉遣いを心掛けているか。	20	2	1	0	人
		87	9	4	0	%
34	保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針に従っている。個々の子どもの情報、保護者や家族の情報は口外していないか。	21	2	0	0	人
		91	9	0	0	%
35	正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて語り掛け、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いているか。親しくなったからといって、友達同士のような話し方をしていないか。	18	4	1	0	人
		79	17	4	0	%
36	電話は相手が見えないために誤解が生じやすい。手短に、簡潔に要領よく、対話することを心掛けているか。	21	2	0	0	人
		91	9	0	0	%
37	保護者等からの伝言等については、メモをする等きちんと対応し、クレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に報告連絡している。クレームの内容によっては職員全体で検討し、共通理解のうえで対処しているか。	21	2	0	0	人
		91	9	0	0	%
38	園庭や畑、砂場などが子どもにとってどのような教育的な意味をもつかを理解し、保育に生かしている。園庭や近隣公園の樹木や草木の名前、季節による変化などを理解し、保育に生かしているか。	18	5	0	0	人
		78	22	0	0	%
39	園庭や近隣公園の環境を関連性を持たせて、保育の計画（指導計画、食育計画、保健計画等）実践に生かすことができる。	17	3	0	2	人
		74	13	0	9	%
40	子どもをとりまく様々な環境が変化してきていることについて学習し、何が問題であるか、背景・原因・実態はどうであるかについて理解したり、学習したりしているか。	16	6	0	1	人
		70	26	0	4	%
41	コロナ禍で行事の変更や延期があり、保護者へ伝える機会が少なかったが、どのような状況でも、保護者に園の思いや考えを伝えるように工夫しているか。	15	7	0	1	人
		66	30	0	4	%
42	新型コロナウイルス感染症が流行している中でも、対策をとりながら園内の行事をすすめることができたか。その都度、園の指標を示し、保護者の理解を得ながら進めることが出来ているか。	19	3	0	1	人
		83	13	0	4	%

43	玄関の施錠をしっかりと行い、防災対策、避難訓練、防犯訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取組がなされているか。	20	2	1	0	人
		87	9	4	0	%
44	火災、地震、津波、洪水、Jアラート、防犯訓練等様々な避難訓練を行うことで、子ども達も自分の身をしっかりと守る力が身についてきている。有事の際には、どのような対応がよいのか、シミュレーションもでき、反省を活かして行動できるようになってきているか。	14	8	1	0	人
		61	35	4	0	%
45	障害のある子どもが安心して生活できる環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか。	15	7	0	1	人
		66	30	0	4	%
46	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて教育保育内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか。	19	3	0	1	人
		83	13	0	4	%
47	感染症やその他の疾病発生予防に努め、看護師や嘱託医と連携し、専門性を活かした対応を図っているか	21	1	0	1	人
		92	4	0	4	%
48	体調不良、アレルギー疾患等を持つ子どもに対し、適切な対応が行われているか。	21	1	0	1	人
		92	4	0	4	%
49	避難訓練・不審者侵入防止訓練・安全点検等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか。	19	3	1	0	人
		83	13	4	0	%
50	事業計画が職員に周知されているか。 事業計画が利用者に周知されているか。	21	1	0	1	人
		92	4	0	4	%
51	守秘義務の遵守が職員に周知され、守られているか。	16	6	0	1	人
		70	26	0	4	%
52	個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか。	21	1	0	1	人
		92	4	0	4	%
53	苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知機能しているか。	16	6	0	1	人
		70	26	0	4	%
54	主体的に職務に取り組み、職務内容の改善が図られているか。	17	4	1	1	人
		74	18	4	4	%
55	組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	12	8	0	3	人
		52	35	0	13	%

教育保育を支える組織的基盤

1. 教育保育目標「心身ともにたくましく思いやり豊かな子」の育成に向けて自身が努力したこと

未 満 児 ク ラ ス	<p>未満児クラスでは、日光浴や水遊び等戸外での活動や運動遊びを通して、楽しめるよう声掛けしたり、一人一人の成長に合わせて、身体を動かしていけるよう働きかけた。</p> <p>毎日体操をしてから活動に入ったり、天気の良い日は園庭や近隣公園へ散歩に出かけ、冬は雪遊びをする等、屋外での活動を行ってきた。</p> <p>ベランダで沐浴を行ったり、公園や園の周りを散歩したりと0歳児が出来る範囲で戸外遊びを行ない、外で過ごすことで強い身体作りをしていけるようにした。</p> <p>室内で遊ぶことが多いときは廊下に出て歩いたり走ったり体を一緒に動かして遊ぶようにしている。</p> <p>未満児クラスでは、できる時は外へ散歩に出かけたり、雪遊びをしたり、また、室内で身体を沢山動かせるような活動を取り入れることが出来たと思う。</p> <p>午睡記録、離乳食、検温等、一人一人の成長発達個人差に応じて保育、関わりを持ち、定期的に保育室や子ども健康状態をチェックして安心、快適に過ごせるよう努力してきました。また、生活習慣が身につくよう援助してきました。</p> <p>公園や園の周辺を散歩したりして、季節の移り変わりを一緒に共有したり、運動遊びやベランダでの外気浴等、体力向上につながる活動をした。</p> <p>天気が良い日は、散歩・マラソン・園庭遊びを子ども達と一緒にし、体力作りをした。栄養バランスのよい食事を心掛け、情緒が安定した状態で子どもと接する様にした。</p>
心 以 上	<p>以上児クラスでは外遊びやマラソン、体操等子ども達と一緒に楽しさを味わいながら、体力の向上に繋がるよう努めた。</p> <p>天候や気温、子ども達の体調に応じて戸外で活動できるとき、朝・夕方その他、積極的に戸外遊びを取り入れた。近隣の公園へも出かけ、体力の向上に結び付く活動(体を使った遊び等)を行ない、体力の増進に取り組んだ。</p> <p>室内遊具(鉄棒・マット、鉄棒、クライミング等)を用いて体力・筋肉の向上を促がした。</p>

身ともにたくましく思いやり豊かな子	一見クラス	<p>朝の体操、マラソンで子ども達の意欲を引き出せるよう自分がモデルとなり元気よく行った。外遊びや帰りの会後の運動遊びでは自身も体を動かし見本を見せたり、声掛けや援助をして体づくり、体力作りを行ないました。</p> <p>身体のとくましさを育むために、身体を動かす楽しさを一緒に味わうように心がけ(マラソン、固定遊具遊び等)、鉄棒や雲梯など頑張っている子、出来るようになった子は大いに誉め、全体に広げて周りの子の意欲ややる気を引き出せるよう努力した。</p> <p>副担任という立場から、個々の特性に応じながら、発達課題を配慮しているいろいろな環境を整えていった。主に支援が必要な子の個別対応に力を添えてきた。</p>
給食室		<p>たくましい身体づくりのために食に興味を持つ子の育成に取り組む努力をした。食べる時間が苦痛にならないように、子どもが食べやすいメニューに配慮した献立作りを行なった。</p> <p>子ども達も食べる量が増えた。給食の〇〇が美味しかった等、手作りオヤツの時にごちそうさまをしてくれる子が多くなって、成長を感じられて嬉しかった。離乳食の子たちには、手づかみでも食べやすいように考え、先生たちにアドバイスをいただいて考えながら作ることができた。</p>
思いやり豊かな気持ちの取り組み		<p>子どもが心身ともに健康で子ども達に接することができるよう精神的安定を図り、保育業務にとりく季節の移り変わりを子ども達とを感じるよう関わった。栽培活動で野菜を育てることを通じて、命を育んだり大切に、思いやりの心が育まれるよう努めた。</p> <p>子どもの気持ちにできるだけ寄り添い、困ったことがあれば解決を図る。</p> <p>自己肯定感を持ち、他者への思いやりが持てるような働きかけ。くじけても、また、頑張ろうとする気持ちが持てるような働きかけ。</p> <p>自分がモデルとなり友達を思いやる姿を表現したり、友達や生物等を思いやる子がいたら、集団にも知らせ、クラスのみんなが思いやりの心に触れられるように心掛けた。</p> <p>一人一人が良く成長発達ができるように保育していく中で、愛情をもって接し、言葉掛けをしながら表情豊かで伸び伸びと育っていけるように配慮していった。</p> <p>友達との関わりの中で互いに思いやる気持ちが育つよう繰り返し仲立ちしている。</p> <p>子ども達が明日も園に来るのが楽しみだと思ってもらえるよう心身共に元気か朝や昼、夕方に色々な声掛けをするようにしている。</p> <p>地域貢献を通して以上児の子どもたちが独居老人を思いやる心が育つように関わり方を工夫した。</p> <p>思いやりを受けて子どもの思いやりが育まれることから、丁寧に愛情を抱いて子どもに接するように心がけた。子どもの優しさが表出された場面を捉えてクラス全体に広め、個の良さを共感し合えるよう食物や調理者への感謝の気持ちを忘れない、思いやり豊かな子の育成に向けて食育活動や声掛けを行なった。</p> <p>また、子どもたちが教育保育目標に向かっていけるようにスキンシップや気持ちの受容に努め、子ども達の安定をはかるように心がけた。</p> <p>栽培活動を通して、命の大切さや思いやりの気持ちが持てるように関わった。</p> <p>まだ、難しいのですが、日々の生活の中で「ありがとう」「ごめんなさい」の気持ちを持てたり、やりとりができるよう仲立ちをすることができた。</p> <p>保護者から離れ、不安を感じている子には寄り添い、抱きしめてあげたりし、情緒が安定するよう心掛けた。玩具の取り合い等、相手を傷つけてしまった時は、子どもの発達にあった仲立ちをし、相手への思いやりを持てるようにした。</p>

## 2. 上司や職員と円滑な人間関係を築くために自身が努力したこと

円滑な人間関係を築くために努力	全職員	<p>報告・連絡・相談をきちんと行う。クラス間での連携をスムーズに行えるように、職員とのコミュニケーションや情報共有を密にする。上司や先輩からの指導、助言を素直に受け止め、理解し、行動する。</p> <p>分からないこと、困った事があったら、自分で判断せず、クラスの先生、又は主任、副主任、園長に相談するようになった。</p> <p>全体のバランスを考えて意見を言うようにしている。</p> <p>職員の相談に対して真摯に傾聴して思いに寄り添い、上司の願い、園の方針やルール、過去の経験上の事例等を伝える中で、対応策を提案したり、共に考え解決できるよう努力した。</p> <p>働く職員の長所や短所を把握し、職員に合った指導ができるように心がけてきた。</p> <p>職員から新しい意見や提案があったとすれば冷静に園にとって園児にとって何が必要かと考え、相手が嫌がらないよう自分の意見をしっかりと職員に伝えるよう努力してきました。</p> <p>率先して仕事を引き受け、価値観を共有し笑顔で会話できるように心がけた。自分ができなかった仕事に対して、相手を労う気持ちを感謝の言葉で伝えた。</p> <p>勤務表作成に当たり、なるべく平等に負担にならないよう色々時間をかけて考え、作成し努力してきました。</p>
-----------------	-----	--

力 し た こ と	<p>気付いた事、必要な業務があれば進んで行ったり、手伝ってもらったり、代わりに取りくんでもらったりすると、感謝の気持ちを伝え、協力して業務を進められるように体制作りを行なっている。</p> <p>見落としや手違いがあった時は、自身も謝り、やって下さった方にはありがたい感謝の気持ちを伝えて、気持ちよく仕事ができるよう努力した。</p> <p>他職種間でも、互いの仕事を尊重しながら、コミュニケーションをとることを心掛けた。給食室に要望を出しやすい雰囲気通りを心掛け、要望があった場合も慶全に向けて努力を行なった。</p> <p>食べやすい・食べにくい・よく食べていた等、給食に関して聞くことができました。</p>
-----------------------	---

### 3. コロナ禍において、保護者と信頼関係を形成するために自身が努力したこと

保 護 者 と 信 頼 関 係 を 形 成 す る た め に 自 身 が 努 力 し た こ と	全 職 員	<p>会話することを意識し、積極的に挨拶を行なった。</p> <p>お便り帳で様子を伝え、ホワイトボードに写真等を使って日中の様子がわかりやすいようにした。可能な限り、直接保護者に伝えるようにした。</p> <p>小さな成長を見逃さずに伝え、成長を共に喜び合うように努めた。保護者の悩みや困りごとにも真摯に向き合い、共に解決したり考えるようにした。</p> <p>出来るだけ、対面で園の様子を伝えたり、写真を使っての活動の伝達を行なうようにしたが、玄関先では伝えにくい内容であったりすると、その時の状況によっては伝えられない事も多々あったため、工夫が必要だと感じている。</p> <p>お便り帳や活動の様子を写真をプリントしたりして毎日の様子が分かり易いように工夫したり、個人面談にて動画を見せて園での様子を伝えることでより安心してもらえた。</p> <p>玄関対応に当たる日は、言葉遣い、表情に気をつけた。朝夕の玄関対応の際、元気よく挨拶し、色々なお父さん、お母さんに色々なクラスの子どもに対してを一言でも伝えて話しかけるよう努力してきた。話をしてもらうことで喜びを感じて下さる保護者もいる。</p> <p>お便り帳やホワイトボードで少しでも細かく伝えるようにし、一人一人の保護者に園児の様子を詳しく教える工夫を行ない、細目に検温や視診を行ない園児の体調管理に気をつけていき、保護者に伝えらるようにした。</p> <p>保護者の思いや要望を受けとめて、園のルール等を丁寧に説明し保護者にとって最善の方法いくつか提案し、共に考えながら、納得感安心感が窺われるまで丁寧に対応するよう努力した。</p> <p>苦情が寄せられたときは、謙虚に受け止め、上司・職員と早期解決できるよう、誤解のないよう丁寧に説明できるよう努力した。</p> <p>コロナ禍で保護者と接することがほぼなくなってしまっていたが、行事などで関わる際には明るく丁寧な対応を心掛けた。</p> <p>「ほけん便り」の紙面でコロナに関する情報提供 離れた場所からでも挨拶笑顔を中心掛けている 園児の体調管理に気をつけ、検温をこまめに行い、発熱のある子は主担に知らせ、家庭に連絡してもらったり、咳鼻水の出ている子は連絡帳やお迎え時に直接知らせる等した。</p> <p>コロナ感染の報告があった時など、子どもの安否を気遣う一言、不安な気持ちでいる保護者に共感する言葉を心掛ける。</p> <p>ホワイトボード、おたより帳で個々の様子を伝えたり、成長が見られた事は、お迎えの際伝えていく。職員間で連携し、子どもの体調を気をつけて見るようにした。子どもが咳熱があるときは細目に検温して保護者へもすぐ連絡できるようにした。コロナの感染者については守秘義務を守った。</p> <p>園児の検温・視診を細目に行い、体調管理を職員間で連携し、保護者に伝えられるようにした。感染報告等守秘義務を守り、不安でいる保護者に対してはおたより帳を通して共感したり、アドバイスをさせていただいたりした。また、お迎え時には、その日にあったちょっとした出来事を伝え、成長を共に喜び合えるようにした。自分自身も感染予防した。</p>
---	-------------	--